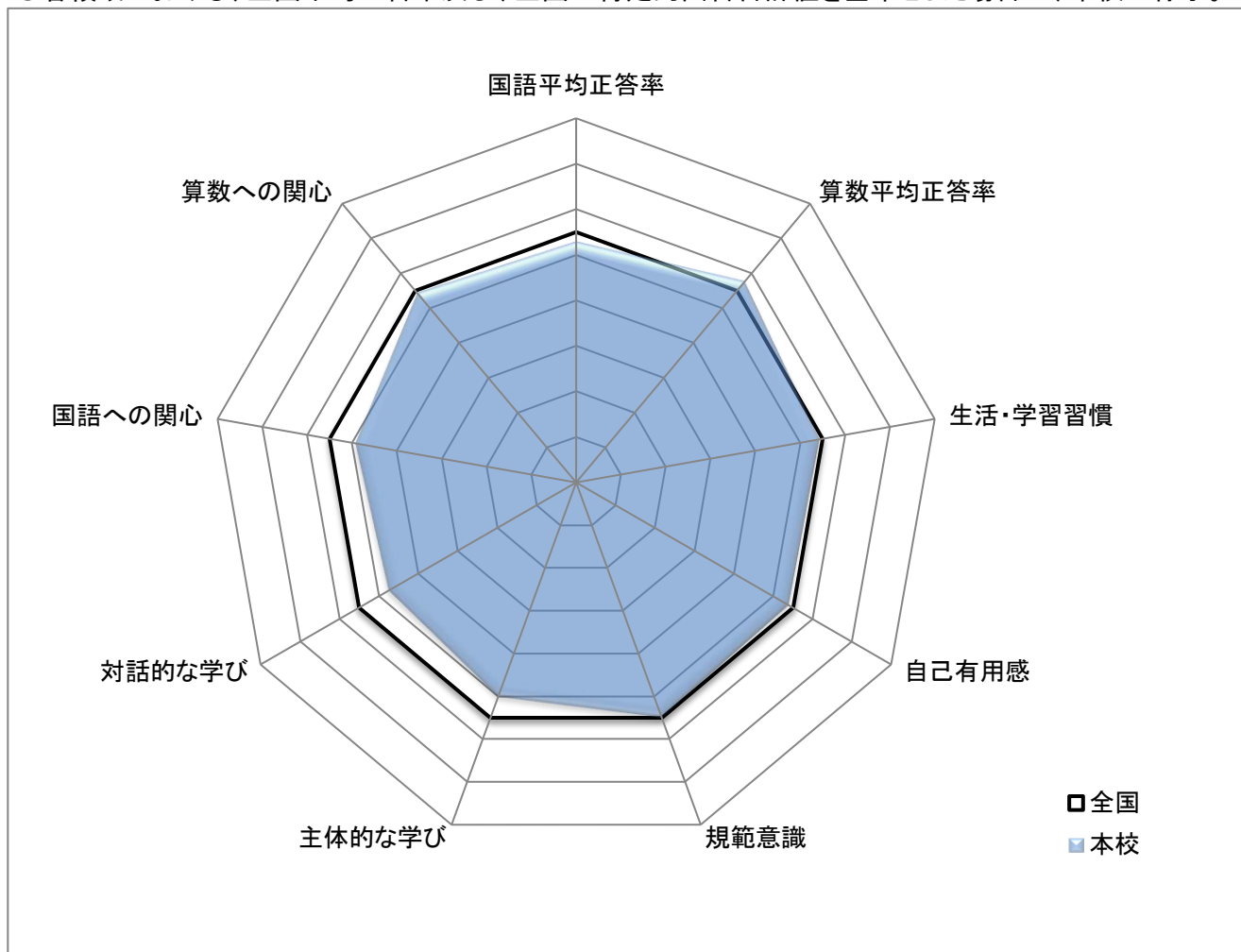


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

- ・国語は2.8%、全国平均を下回った。
- ・算数は3.4%、全国平均を上回った。
- ・国語への関心は、全国平均より0.12ポイント下回っているが、算数への関心は全国平均とほぼ同じであった。
- ・主体的な学びにおいては0.1ポイント、対話的な学びにおいては0.15ポイント、全国平均を下回った。

《授業改善のポイント》

- ・国語科においては、今後もお互いの考えを伝え合う活動を多く取り入れ、主体的、対話的な学びが深まる工夫をさらに継続していく。学び合いにお中で、主体的に取り組んでいく姿勢を身に付けさせていく。
- ・算数科においては、習熟度別指導を効果的に行い、東京ベーシックドリルを活用したり、小テストなどを用いたりして、基礎・基本の定着を図る。また、発展的な学習において、多様な考え方を引き出していく。

《チャートの特徴》

- ・全国平均を1とした正多角形とほぼ同じ正多角形を描いている。
- ・国語への関心、主体的な学び、対話的な学び、が低いチャートを示している。
- ・規範意識は全国平均とほぼ同じであった。
- ・生活・学習習慣、自己有用感は全国平均をわずかに下回っている。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・東京ベーシックドリルやeライブラリを活用した家庭学習の工夫をする。
- ・生活・学習習慣の安定と自己有用感の醸成について、家庭、地域に働きかけ、連携して取り組んでいく。